

横浜・八景島シーパラダイス

ゼニガタアザラシの赤ちゃん 6月9日(火)誕生！

『横浜・八景島シーパラダイス』の水族館「ふれあいラグーン」で、2026年6月9日(火)午前9時27分に、ゼニガタアザラシの赤ちゃんが誕生いたしました。

当施設でゼニガタアザラシの赤ちゃん誕生は初めてとなります。

ゼニガタアザラシの赤ちゃんは、母親「ワサビ」から誕生し、赤ちゃんの眼の上の模様が母親「ワサビ」の眼の上の模様にそっくりです。産まれた直後から母親「ワサビ」に寄り添って元気に泳いでおり、親子微笑ましい姿や可愛らしい表情を「ふれあいラグーン」内のヒレアシビーチからご覧いただけます。

可愛らしい表情やしぐさがいっぱい赤ちゃんが元気に育つよう、飼育員一同、見守っていきます。



<この資料に関する報道関係各位のお問合せ>

『横浜・八景島シーパラダイス』 広報担当/長谷川・武井

TEL 045-788-9631 FAX 045-788-9735

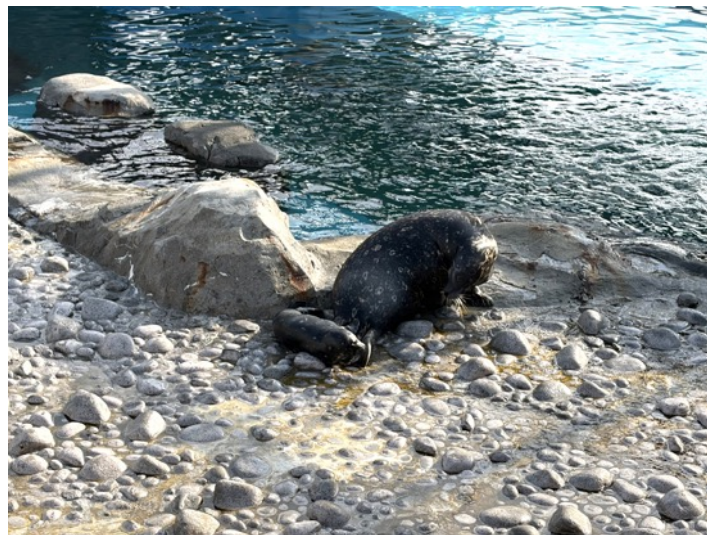
mail: hkj-kouhou@seibugroup.jp

■ゼニガタアザラシについて

ゼニガタアザラシは、北海道の東部沿岸から襟裳岬等に生息しており、日本の沿岸に唯一定住する海獣です。体の表面に昔のお金の「銭」をイメージさせる穴が開いた銭形の模様があることから、ゼニガタアザラシという和名がつけられました。

ゼニガタアザラシは岩場で出産を行うため、母親のお腹の中にいる間は白い産毛が抜け落ち、岩場などの周囲の環境と同化する保護色として、大人の個体と同じである銭形模様や黒っぽい体色で産まれます。

今回「ふれあいラグーン」で誕生した赤ちゃんも、大人の個体と同じである銭形模様で誕生した姿をご覧ください。



<ゼニガタアザラシの赤ちゃん>

誕生日時：2026年6月9日（火）9：27

性別：メス 体重：約15kg

父：「ホタテ」

母：「ワサビ」

<ゼニガタアザラシ>

英名：Harbor Seal

学名：*Phoca vitulina stejnegeri*

分布：北海道の東部沿岸から襟裳岬

生態：オス70kg～170kg / メス50kg～150kg